

## あ と が き

今年の3月22日から31日にかけて、72年に1度という神社の祭礼が茨城県で行われた。神社の名前は、西金砂神社と東金砂神社。ともに御神体は「アワビ」で、そのアワビを海に運び、海水で清める神事を72年ごとに行うのだという。そのために、茨城県の山岳部にある2つの神社と原研東海研からさほど遠くない日立市水木浜の間を1週間かけて往復する。最初に祭礼が行われたのは平安時代で、今年で17回目だそうだ。2回前を振り返るともうそれは江戸時代なのだ。72年という時間スケールがあまりにも日常生活からかけ離れているので、話題になった。

私も、人混みに混じって、田楽舞や500人規模の大行列を見たが、それらを見ているだけでは、特に「72年」を感じない。それは、どこにでもありそうな、祭りの風景であった。だが、祭りを構成する人たち一人ひとりの思いを聞くと、やはりそこには72年の重みがひしひしと感じられ、感慨深いものがあった。

我々のシグマ委員会（＝日本の核データ活動）は今年2月で40周年を迎えたが、72周年には更に30年以上もある。さらに気を引き締めて永続的に活動し、是非72周年を祝ってもらいたいものである。

なお、核データニュース編集委員を永く勤められた喜多尾憲助さんに替わり、今年度から山野直樹さんが新たに編集委員になられたので、よろしくお願ひします。

中川 庸雄

[nakagawa@ndc.tokai.jaeri.go.jp](mailto:nakagawa@ndc.tokai.jaeri.go.jp)

### 核データニュース編集委員会

中川 庸雄(委員長、原研)、井頭 政之(東工大)、岩本 修(原研)、長谷川 明(原研)、  
山野直樹 (住友原工)、吉田 正(武蔵工大)、[オブザーバ] 喜多尾憲助